

読書の旅へでかけよう！

学校司書おすすめの本(小学校・義務教育学校4～6年生向き)



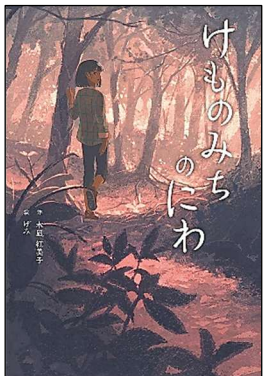
『朝顔のハガキ』
山下みゆき／作
ゆの／絵
朝日学生新聞社 913

夏になると毎年必ず届く謎の「絵ハガキ」。小学6年生の夏休み、ぼくは家族の反対を押し切って送り主に出会うための旅に出た。



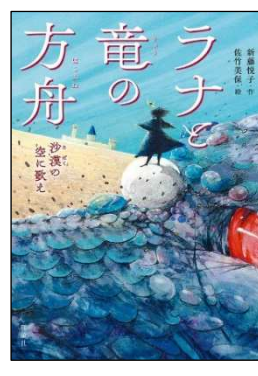
『ひと箱本屋とひみつの友だち』
赤羽じゅんこ／作
はらぐちあつこ／絵
さ・え・ら書房 913

ひと箱本屋カフェで売られていた1冊の手作り本。作者は自分と同じ5年生の女の子。朱莉はどうしても会ってみたい。



『けものみちのにわ』
水尻紅美子／作
げみ／絵
BL出版 913

おじいちゃんの家の隣には、絶対に入ってはいけない「けものみち」がある。5年生の風花が体験する、優しくてちょっと怖い、不思議を描いた物語。



『ラナと竜の方舟』
新藤悦子／作
佐竹美保／絵
理論社 913

沙漠の中の「蜃気楼の町」。竜が、いのちの危険にさらされている子どもを救い出して連れてくる場所だ。ラナも気づけばその町にいた。



『アインシュタインをすくえ！』
時間と空間をこえた8日間
コーネリア・フランク／作
若松宣子／訳 スカイエマ／絵
文溪堂 943

1913年にタイムスリップしてしまったエミリーたち。知恵と勇気でなんとかピンチを乗り切るが……。現代にもどれるのか？



『100年見つめてきました』
吉野万理子／作 川上和生／絵
講談社 913

わたしは「飛行塔」。100年近く前に生駒山の遊園地に造られた。平和なときも戦争のときも、子どもたちとともにそこに立ち続けてきた。



『おじいちゃんのおぼく』
パトリシア・マクラ克蘭／作
若林千鶴／訳 黒井健／絵
リーブル 933

ぼくのおじいちゃんはおぼくがみえない。おじいちゃんだけのやり方で色々なものをみる。ぼくもそのやり方をしてみると、たくさんのことに気づけたよ。



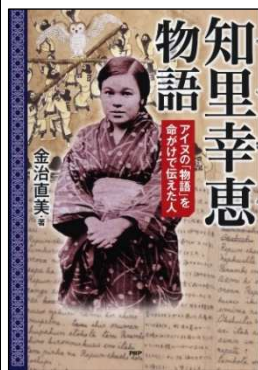
『魔女がやってきた！』
マーガレット・マヒー／作
尾崎愛子／訳 はたこうろう／絵
徳間書店 933

くいしんぼうでおっちょこちょい。意地が悪いけど親戚の子にはちょっとだけやさしい。そんな魔女たちの楽しいお話5つ。



『まんがで哲学
哲学のメガネで世界を見ると』
菅原嘉子／文・構成
ながしまひろみ／絵・マンガ
ポプラ社 104

心に「もやもや」がうかんだ時、
「哲学」で考えたらそれが何なの
か、わかるかも!? この本で
そのやり方を学んでみよう!



『知里幸恵物語』
アイヌの物語を命がけて伝えた人』
金治直美／作
PHP 研究所 289

語り伝えられてきたアイヌ語の物
語。それを日本語に訳し、読める
ように文字で残したのは一人の
女性だった。独自の文化を持つ
アイヌの歴史もわかる。



『バスが来ましたよ』
由美村嬉々／文 松本春野／絵
アリス館 E

目の見えない男性がバス停に立
っていたら、同じバスで学校に通
う小学生が声をかけて……。小
さな手のぬくもりのリレーが心
に響く、本当にあったお話。



『なんてくさいんだ!』
ロンドンを救ったジョゼフの物語』
コリーン・ペフ／文
ナンシー・カーペンター／絵
金原瑞人／訳
あかつき教育図書 E

1858年の夏、ひどいにおいを
放っていたロンドンのテムズ川。
川をきれいにするために新しい
下水道システムを作り上げる。



『子どものための もしもマニュアル
「きんきゅうじたいにつかうもの」が
わかる本』
WILL 子ども知育研究所／編著
理論社 369

「公衆電話」「非常停止ボタン」
「消火器」「非常階段」など、もし
ものときに使うかもしれない道具
や設備の使い方がわかる本。



『ようこそ！
虫のぬけがら博覧会』
森上信夫／写真・文
少年写真新聞社 486

虫のぬけがら大集合！ セミ
のほかにもトンボ、タガメ、イ
モムシなど。ページを開くと知
らなかったワクワクする世界
が広がっているよ。



『論理的思考力が育つ 10歳からの
おもしろ！フェルミ推定』
横山明日希／著 こざきゆう／文
柏原昇店／絵 くもん出版 417

正解のない問題「フェルミ推定」。
10問のおもしろフェルミ推定を
と解いて、自分の頭で考え、あき
らめずに答えを導き出す楽しさ
を味わおう。



『ヨシ 3万7千キロをおよいだ
ウミガメのはなし』
リン・コックス／文
リチャード・ジョーンズ／絵
いわじょうよしひと／訳
あすなろ書房 E

日本の漁船に助けられたアカウミ
ガメのヨシは、2年2か月をかけて
3万7千キロを泳ぎ、生まれ故郷
に帰った。本当にあったお話。



『海を科学するマシンたち
ちきゅう 地底のなぞを掘りだせ!』
山本省三／作 ハマダミノル／絵
くもん出版 556

地球の中がどうなっているのか地
底を掘って調べているのが探査船
「ちきゅう」だ。ドリルで穴を掘る
仕組みや船の工夫を見てみよう。



『野菜には科学と歴史がつまっている
トマト裁判の判決は
どっちだ?』
キム・ファン／作 山本久美子／絵
くもん出版 626

トマトは果物？それとも野菜？
アメリカでは、トマトが果物が野
菜か裁判までおきた。トマトの歴
史や栄養を学んでみよう。